



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yasuo Ueno 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cyo, Ashiya, Hyogo, Japan
 Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp Tel. 0797-32-9360
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Joan Wilson
 「私たちの未来は、今日から始まる」"Our Future Begins Today"
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
 西日本区理事 岩本 悟(熊本西クラブ)
 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」
 "Energizing Y 'Men' Clubs with the Y's spirit !"
 六甲部部长 長井慎吾(西宮クラブ)
 「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ
 活性化を図ろう」
 芦屋クラブ会長 上野恭男
 「ワイズの原点に戻ろう」

今月の聖句

「神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。」

<詩編 46:2>

2月第1例会

と き: 2017年1月15日(水) 18:00~21:00
 と ころ: 芦屋市民センター 116号室
 司 会: 柏原佳子ワイズ

1. 開会点鐘 上野恭男会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. 食前感謝 権 甲植ワイズ
5. 神戸YMCA留学生交流会
 司会: 柳原謙介連絡主事
 ギター伴奏: 岡山泰典ワイズ(神戸西クラブ)
 (交流会終了 20:00)
6. 次年度役員選出
7. ①第2例会議事録の承認 上野恭男会長
 ②各事業委員の報告 各事業委員
8. YMCA報告 柳原謙介連絡主事
9. ニコニコ献金報告 島田恒ファンド委員
10. 誕生日祝い
 坂東幸子ワイズ・堤和子メネット
11. 閉会点鐘 上野恭男会長

会 長 上野恭男
 直前会長 五十嵐政二
 副 会 長 柏原佳子・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・島田 恒
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 柳原謙介
 六甲部交流主査補佐 五十嵐政二

2

Feb., 2017
 237号

IBC・DBCクラブのこと



上野恭男

ワイズメンズクラブに入会して想うことは、あなたは今 1500 人の西日本区のメンバーとワイズメンズクラブの会員として兄弟姉妹のように仲良くしてもらえるのだ、と言われたことでした。実際、感謝の日々です。そしてDBCク

ラブを締結することで、クラブ同士の絆が深まり、より親密なお付き合いが始まります。芦屋クラブは鎌倉、もりおか、熊本みなみ、の3クラブとDBCを交わしており、IBCではオーストラリアのECHUCAクラブと横浜世界大会で兄弟クラブになりました。すべての会員とのお付き合いは難しいですが、訪問した時の交流は忘れられない楽しい思い出です。

昨年末のクリスマス祝会には、毎年もりおかクラブからいただくリンゴが並び、オークションと合わせてYMCAに献金することができました。

来期は芦屋クラブの創立20周年を迎え、記念周年例会が開催されます。DBCクラブのメンバーが参加されることが何よりも嬉しいことです。記念誌作成に当たりお祝いのメッセージが並ぶことを期待します。

プリテン1月号より「DBC便り」が始まりました。より深くお互いを知り、さらに交流の機会に積極的に臨む良い兄弟クラブとなれるようにと願います。

1月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手
メンバー	11名	出席者	11名	累計 gm
ビジター	1名	メイクアップ	1名	
ゲスト	5名	合計	12名	ニコニコ
メネット	1名	在籍者	17名	
コメント	名	(内広義会員1名)		1月 23,364円
合計	18名	出席率	70.6%	累計 97,054円

1月第1例会報告

日時：2017年1月18日(水) 19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

出席者：上野会長、五十嵐・柏原・桑野・篠坂・島田
権・羽太・坂東・福原(各ワイズ)、五十嵐メネ
ト、柳原連絡主事

ビジター：小野勅紘(西宮クラブ)

ゲスト：高橋奈王子(ゲストスピーカー)、菅原進(元ワイ
ズ)、中山豊美・上野義治(島田ワイズ友人)、
武貞桂子(桑野ワイズ友人)

上野会長
の開会点
鐘をもって
芦屋クラ
ブ新年の
スタートが
きられた。
羽太メン
による聖



句は「始めに言があった」という新年に相応しい個所であった。これは日本最初の日本語訳では「ハジマリニ カシコイモノゴザル」であったという。「カシコイモノ」を大切にすることが奨められた。

この日はゲストスピーカーを除き5名のゲスト・ビジターの参加をいただいた(新入会につながるとうれしいですね)。



演しものは、普段馴染みの少ない小鼓のお話と実演。高橋奈王子さんが、若々しく小鼓のことを楽しく分かりやすく披露してくださいました。海外・国内の芸術関係者による、

わが国伝統芸術である能・狂言・小鼓等の講座に参加されて啓発を受け、能の世界へと進まれ実績を残してこられた。京阪神を中心に能楽の舞台に出演、海外公演にも活躍の場を拓かれておられる。日本独特の素晴らしさを世界に知ってもらおう大切な機会にもなっていることに思いを馳せることになった。

能舞台における小鼓やその他の楽器についても詳しく説明され、伝統芸能の世界に馴染む雰囲気が会場に流れた。クライマックスは小鼓による実演。スピーチとは雰囲気が変わり、活気に溢れた小鼓の音色に一同が静まって聞き入った。演奏終了後も楽器としての小鼓の仕組みを観察したり質問したりして伝統芸術の深みを確かめる機会となった。これからの行事ではYYフォーラム、チャリティワイン、ワイズ東西交流会等が報告されたが、当クラブ恒例の留学生交流会(2月例会)が今年は市民センターで開催されることが告知された。渡辺倫子ウィメンの病からの回復を願う気持ちを新たにさせられた。 島田 恒

西宮クラブ新春第1例会に思うこと

新年第1例会にふさわしく武田 建氏を招かれ「余島キャンプ今昔物語」のゲストスピーチです。1950年アメリカYMCA、世界YMCAのご経験を生かされて、キャンプ場にギターを持ちこまれたことなど、故今井先生のお名前が何度も出てきます。進むにつれて語られるご本人も聴いているリーダーOBの皆様も青春の懐かしい雰囲気に包みこまれていきます。お隣で時々ご夫君を見上げながら頷かれている寿子さまの姿が印象的でした。私も六甲部部会(西宮クラブ山口正紀部長)が余島で開催された記憶が次々と思い出されてきます。ある時間帯だけ海が引き潮になり島まで砂浜を歩けること、星の形に組まれた薪に厳かに火がつく瞬間、キャンプファイアーは幻想的な空間に。輪になって歌ったこと、バーベキューの美味しかったこと、キャビンが新しい場所を与えられ、あくる日の早朝礼拝は清々しく屋外で讃美歌を唄ったこと・まさに青春そのものに戻れた何事にも代えがたい至福の時だったと思います。お話の中で何度か財政困難という言葉が出てきたようです。島田ワイズから、「アピールのあり方を考えるのも大切か?」という意見が出ましたが、やはり難しい課題です。2次会の快活なこと!誰彼ともなく位置し、たわいない話題に花が咲き、メンバーのほとんどが「集まる」ことが素晴らしい!羨ましい先輩クラブです。上野会長・島田・島中・柏原(各ワイズ)が参加しました。 柏原佳子

神戸ポートクラブ例会参加報告

1月12日新年の飾りつけも残る中、神戸ポートクラブ例会に参加した。この日のゲストスピーカー小山哲夫さん(元熊本YMCA総主事)に会うことも大きな目的であった。小山さんは熊本YMCAを含め、日本のYMCAがどのような経過で創設され拡大していったかを語られた。創設期にはキリスト教宣教を担われた牧師が直接YMCAに関わられ、キリスト教色を強く掲げて発展してきたことを伺わせるものであった。この日、2名の新入会式が行われ、六甲部幹部も同席された。昨年も1名の新入会者があり、会員26名となり、六甲部で最大のクラブになったと報告されていた。後日、例会出席に対する御礼もいただき、行き届いたフォローもしていただけることを感じ、芦屋クラブEMC委員としては一層の努力が必要と反省させられた。会場である三宮ターミナルホテルは立地抜群。でも、会場は細長く、竹園会場の良さを改めて感じた。芦屋クラブの素晴らしいところを活かし、みんなで一層の活性化を計りたいと思われた訪問となった。 島田恒

~~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*



金屏風と松、お正月例会らしい華やかな席です

キリスト教講座 第5回「出エジプト記」

(特徴) 出エジプト記という書名はギリシャ語の「エクソドス」(出ていくこと、出発の意味)に由来します。七十人訳ギリシャ聖書はこの「エクソドス」という語によって、神様がモーセを選び、エジプトで奴隷状態にあったヘブライ人を導き出したことを強調しています。ラテン訳をはじめ欧米の聖書はこれを踏襲しています。日本語聖書はこれを漢字に倣って「出エジプト記」としました。ヘブライ語の聖書では、最初の一語ないし二語をもって表題とする習慣に従って「ウエーエーツレーシエモート」(名前は次の通りである、の意味)としています。

(なぜ書かれたのか) 出エジプト記は創世記に続く書で「モーセ五書」の2番目の書物ですが、40章に及ぶ大部の書簡です。神ヤウエの民としてのイスラエルの発足の事情を伝えるものとして、大変重要な意味を持つ書簡といえます。この書簡は、古代イスラエル史上の二つの重要な出来事を描いており、その一つはエジプトの王女の養子として成長したモーセが、当時奴隷状態であったイスラエルの民を神の導きの下に、エジプトから脱出させる物語で、後の世代はこの出来事を偉大な神の救いの業として語り継ぐことになる。もう一つの重要な出来事は、シナイ山での律法の授与といえる。モーセを通して民に十戒と律法が与えられたが、それらは神の民が礼拝し、共に生きるための指針が示されている。これ等のことによって、ヤコブの12人の子らを各祖とする十二部族は、初めて明確にイスラエルという名の民族として自覚を持つようになったといえます。

権 甲植 (続)

ヨーロッパ紀行 イタリア旅行での乗り物について

空路 LCC ローマからトゥルーズ(フランス)までとトゥルーズからミラノまでは Easyjet を、ローマからイタリア南部のバリまでは Ryanair を利用したが、とにかく安い。Alitalia なら300ユーロのところは40~70ユーロぐらい。ただし座席指定など別料金がかかることが普通。でも飛ぶのはおなじ、どれも満席だった。

列車 主要都市間の長距離を走るイタリアとカトレイタリアは日本の新幹線並み。共通の線路を走る。時間も運賃も新幹線と大差はない。しかし自由席はない。インターネットで予約すれば紙の切符は不要。改札口もなく車内で車掌がチェックをするだけ。座席は広く快適。

地下鉄 ローマは1時間で1.5ユーロ、ナポリは1ユーロ。どこでも出るときは切符は不要。駅には使った切符が散乱している。日本のように出るときに切符が必要だとオリンピックのときが心配。車内では必ずと言っていいほど席を譲ってくれた。とくに中高年の男性からも、これは日本では経験がない。

フランスでもスペインでもイタリアでもバスも市電もきれいだった。しかしローマの地下鉄だけは落書きだらけのが走っていた。

タクシー 日本より割安だったのでしばしば利用した。どこでも多かったのはトヨタ。ランチアやマセラッティといかなくても Fiat や Maseratti と思ったが10回以上乗ったのに1度だけ BMW にあっただけ。運転手に聞いたら丈夫で燃費がいいし内装もいいからずーっとトヨタだと言った。ハイヤーはいつでもメルセデスがきてくれた。

走り出すとかつての日本の神風タクシーなみだが歩行者優先は徹底している。横断歩道のないところを歩行者が横切っても車はびたりととまる。

◆イタリアではどこでも列車や地下鉄のすべての駅でも自動小銃を持った兵士が2名ずつ、少し人の多い所はパスポートを提示させられたり、巡礼者などで外国人の多そうなところには装甲自動車があった。フランスやスペインでは見られなかったがベルリンでのテロの犯人がミラノ郊外の駅で射殺されたのも分かる気がした。かつて多くみられた物乞いが今回全くみられなかったのもこのおこぼれだろうか。

五十嵐政二・かほる



2017年YYフォーラム「YMCAのブランディング」

さる1月28日13時30分より神戸栄光教会にて今年度[Y Yフォーラム]がYMCA主催で開かれ六甲部会から40名YMCA幼稚園から24名リーダー会、ユース委員ほか関係者22名の計86名が参加。我が芦屋クラブからは上野、羽太、柏原、桑野、篠坂の5名が出席した。プログラムの第一部は講演として日本YMCA同盟ブランディングタスクチーム 三浦友里恵(広島)・船戸輝久(大阪)両氏による「ブランディングの何故」と言うテーマで、この数年に亘り検討されてきたYMCAの今後進んで行くべき道を明確に表現し社会に大きくアピールしようと熱烈な説明がなされた。そしてここに至るまでの内側から見たYMCAと外側から見たYMCAの入念なるイメージ調査のもとに、あの大企業になった(米)アップル

社の例をあげ、そのイメージアップ戦略を分かりやすく説明があり、今後のYMCAの[ブランドコンセプト]として ①表現に一貫性を持ち(VISION) ②クオリティを高め(VALUE) ③YMCAだけの価値を明確に(PERSONALITY)の三本柱が選定された。第二部では「そしてみんなで歩きだそう!」をタイトルとして6名編成の各チームに分かれグループディスカッションをすることに。テーマは ○今の社会の課題 ○YMCAの可能性や期待 ○シェアリング ○現場や自分の現状等でそれぞれのチームがテーマを選び活発な意見交換がなされ最後に各チーム代表により発表された。◆今回の参加者の全員が[今ある自分の意識の高揚に大いに役立った]1日となったのではないのでしょうか。 篠坂幸彦

第2例会議事録(抄)

日時: 1月25日(水) 18:00~21:00

場所: 芦屋市民センター204号室

ブリン会議: 18時~18時30分

第2例会: 18時30分~20時

出席者: 上野会長・五十嵐・柏原・桑野・篠坂・島田
羽太・福原(各ワイズ)

議事

◇第1例会の予定

・3月15日(水)は野口善国ワイズ(神戸西クラブ)

「弁護士の事件あれこれ」

・4月19日(水)・5月17日(水)・6月21日(水)については五十嵐ワイズのイタリア紀行・モダンダンスなど案を絞ることとする

◇西日本区大会実行委報告

実行委員会のMLの登録、講演のスピーカー依頼過程、チラシのデザインなど報告

◇12月度会計報告が羽太英樹会計よりなされ承認

今期ファンド事業については各自が会計に預ける。(1月第1例会にて提示)

◇20周年について: 12月クリスマスと同時開催

日時: 2017年12月23日(土・祝)に決定

◇BF使用済み切手700g. をYYフォーラム時に提出する

今後の予定

・3月18日(土)・19日(日) 会長・主査研修会

・4月1日(土)・2日(日) さくら祭り

・4月15日(土) 六甲部第2評議会

・6月10日(土)・11日(日) 西日本区大会(熊本)

★ 第3例会「ひろ」にて20周年の案など様々な意見がだされた。

YMCAニュース

YYフォーラム報告

(前半略 篠坂ワイズの報告をお読みください)

後半には、さらにコンセプト理解を深めるために、社会問題に対してYMCAができることや期待することをグループで話し合い、最後には「わたしができること」をそれぞれ書いて、それがつながり、「ポジティブネット」を表現することができました。

今回だけで、ブランディングがおわりではなく、これからずっと続いていき、変容する社会にあわせて、どんどん変わっていくものだと思います。

今回は、全国のYMCAが同じ方向にむかって進むために、神戸YMCAにおいての「キックオフ」となった会となりました。

今後の予定

神戸YMCA発達支援セミナー

発達の気になる子どもへの基本的理解を深め、子どもとその保護者へのよりよい関わり方、サポートのありようについて学びます。講師として、松本聡子さん(臨床心理士・特別支援教育士・家族支援研究会副代表)をお招きして、学びの時を持ちます。

日時: 2017年2月11日(土・祝)10:00~11:30

場所: 神戸市青少年会館5F レクリエーションホール

定員: 60名(参加費無料)

申込: WEB <https://goo.gl/ahycfU>

電話 078-793-9077 児童発達支援事業

YMCAおひさま

★今年度末で総主事が交替されるYMCAがあります

・日本YMCA同盟 島田 茂 → 神崎 清一

・東京YMCA 廣田光司 → 菅谷 淳次

・京都YMCA 神崎清一 → 加藤 俊明

・福岡YMCA 向谷 章 → 奥村 洋充

DBC便り

2016~2017会長 井上修三

2007年2月17日岩手県盛岡市で産声を上げたもりおかクラブです。

「もりおかクラブ」の最大目標は「盛岡YMCAの支援」。とはいえ、決して裕福ではない我々ですので、未来を担う若者を精神面で応援することを第一に掲げました。

振り返ってみるとリーダーからカップルが数組生まれ、子を授かり、現在盛岡YMCAのスタッフとして活躍中。マンションの一室で事務所、学童保育を実施していたころから、相変わらず事務所は変わりませんが、学童保育用部屋も確保、また、盛岡市内2ヶ所で学童保育を実施するまでとなりました。また、リーダーからスタッフになる若者も毎年あり、大切な資産が増えております。

例会には常時2名程度のリーダーが出席し学校とは違う大人の社会を垣間見しております。

圧巻はクリスマス会です。10余名のリーダーが毎年凝った

趣向のゲームで共に大口をあけて一年のお祝いと新たな年への希望を託します。

クラブメンバーのほぼ全員が盛岡YMCA会員であり、メンバーもスタッフをはじめリーダーをほぼ把握しており、これは規模が小さいことのメリットかもしれません。

また、一昨年よりリーダーの新年会、キャンプ打ち上げなどで声をかけていただくようになり、これはこれで、また、パワーを享受する嬉しい機会となっております。

貴クラブのように活発なCS活動にはほど遠いのですが、10年の節目を迎え、CS活動についても考えるときを持ち、盛岡YMCA主催初のチャリティーラン(2019年9月23日)にクラブを挙げて協力することで現在まっしぐら。

東日本大震災支援は宮古VCを拠点に総主事が中心となり、地元の高校生をはじめとする若者、地域の方々、県外の方々の応援を得て、2012年を目標に継続しております。(宮古のサッカー教室は25名の子どもたちが定着)

なかなか「今日は！」と気楽に伺える距離ではありませんが、今年はせめてお便りで交歓といきましょう。よろしく願いいたします。



編集後記: ◇世界中がトランプ大統領に振り回されています。「長い物には巻かれろ」にならなければ良いのですが。◇今年も留学生を招待してポトラックパーティーを持ちます。美味しい料理を準備して楽しい交流会になります様に。◇今年には特に寒暖の差が激しいようです。皆様、風邪などひかないように、ご自愛ください。 桑野友子